

宮内地区 土砂災害ハザードマップ

廿日市市 平成31年3月作成

土砂災害ハザードマップとは？

このハザードマップは、大雨による土砂災害を想定し地区のみなさま話し合いを重ねながら作成したものです。ハザードマップには、災害危険箇所、指定緊急避難場所、避難時の注意箇所などをまとめています。ご家庭などで指定緊急避難場所や避難ルートなどを確認し、早めの避難ができるよう備えておきましょう。



わが家の防災メモ

地図面で指定緊急避難場所や避難ルートなどを確認し、大切なことを書き込んでおきましょう！

家族で決めておくこと

●最寄りの指定緊急避難場所はどこですか？

指定緊急避難場所 集合場所

●家族の連絡先はどこですか？

氏名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先 (携帯電話・学校・勤め先など)

●家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

地域の連絡網

誰から さん から連絡があり、誰へ さん へ連絡する。

知っておきたい連絡先

機関名	電話番号	機関名	電話番号
廿日市役所	0829-20-0001 (代表)	四季が丘市民センター	0829-38-3365
宮内市民センター	0829-39-6011	宮園市民センター	0829-39-1699

●災害用伝言ダイヤル(171)

発信する **171-1** 市外局番からの電話番号 **171-2** 市外局番からの電話番号

※伝言の録音・再生に必要な電話番号は、「被災地の方」は自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、「被災地以外の方」は連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤルしてください。

すぐに持ち出せる所に保管して下さい。

ハザードマップに関するお問い合わせ 廿日市市 総務部 危機管理課 住所:廿日市市下平良一丁目11-1 電話:0829-30-9102

土砂災害の基礎知識

広島県では、土砂災害防止法という法律に基づき、土砂災害により被害を受けるおそれのある箇所について「砂防基礎調査」を実施し、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域(地図面で黄色と赤色の区域)を指定しています。それぞれの区域では、広島県や廿日市市が主体となり、土砂災害から皆様の生命や財産を守るために、様々な施策を実施しています。

土砂災害の種類と前兆現象

かけ崩れ

かけ崩れとは、斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪う割合も高くなっています。

こんな前兆れに注意!

- かけにひび割れができる
- 小石がバラバラと落ちてくる
- かけから水が湧き出る
- 湧き水が止まる・濁る
- 地鳴りがする

区域指定の基準

- ① 傾斜度が30度以上、高さが5m以上の区域
- ② 斜面の上端から水平距離が10m以内の区域
- ③ 斜面の上端から水平距離で急傾斜の高さに相当する距離の2倍(最大で50m)以内の区域

土石流

土石流とは、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速20~40kmという速度で一瞬のうちには人家や畑などを壊滅させてしまうこともあります。

こんな前兆れに注意!

- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- 降雨が続くのに川の水位が下がる

区域指定の基準

- ① 土石流のおそれがある渓流(ただし流域面積が5km²以内)
- ② の渓流において、谷出口(扇頂部)から下流側の深床勾配が2度までの区域

地すべり 地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。宮内地区に地すべり危険箇所はありません。

水害の基礎知識

雨の強さと降り方

雨量	1時間に10~20mm	1時間に20~30mm	1時間に30~50mm	1時間に50~80mm	1時間に80mm以上
雨の様子	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。		
人への影響イメージ	傘が壊れる。話し声が聞き取りにくくなる。	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。	バケツをひっくり返したように降る。	溝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。
状況	長引くようなら、注意が必要である。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のけがけ崩れが始まる。	山崩れやけがけ崩れが起こりやすくなる。避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出したり土石流が起こりやすくなる。	雨による大規模災害のおそれ強く、厳重警戒が必要。

浸水深と浸水の影響

洪水や内水は氾濫によって、市街地や家屋、田畑が水で覆われることを浸水といい、その深さ(浸水域の地面から水面までの高さ)を「浸水深」といいます。

浸水深と避難行動

浸水深	車への影響
50cm以上	車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車で車の中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。
30cm~50cm未満	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならぬ。
10cm~30cm未満	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
10cm未満	走行に関し、注意する必要がある。

人への影響

■車への影響

■地図面をチェック!

地図面(裏面)に表示している浸水想定区域

町内会の連絡網や町内会別マップなど、ハザードマップと一緒にしておきたい資料のり付けしてください。

防災情報を収集する

防災情報を集める手段は様々なものがあります。使いやすい、自分に合った手段を用いて早めに情報を取得し、身の安全の確保につなげてください。また、停電時などのように情報を集めるかも考えておきましょう。

防災行政無線 放送内容が聞こえないときは... 防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます。

メール あらかじめ受信設定を行っている携帯電話・スマートフォンには、避難情報ははじめとする緊急情報が配信されます。

はつかいち安全・安心メール配信サービス 積極的に活用を!

登録された携帯電話やパソコンに災害情報などをメール配信するサービスです。緊急速報メールなどよりも詳細な情報が届きますので事前に登録をしておいてください。

登録方法

- 1) 登録用アドレスまたはQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。
- 2) 数分以内に、登録用URLが記載されたメールが届きますのでURLをクリックしてください。
- 3) 必要な情報(災害・緊急情報、気象情報)を選択して「次へ」を押します。
- 4) 入力内容を確認し「登録」を押します。数分以内に登録完了メールが届きます。

※登録・配信にかかる通信費用は利用者の負担となります。
※一部の携帯電話では、送信された登録用URLから接続できない場合があります。その際には、お手数ですが危機管理課(0829-30-9102)までお電話ください。

安全に避難する

避難行動とは？

- 指定緊急避難場所への移動 切迫した災害の危険が迫っている場合は、避難ルートを確認し速やかに避難してください。
- 安全な場所への移動 公園、親戚や友人の家などに移動してください。
- 近隣で鉄筋コンクリート等の強度が強く、高い建物への移動
- 建物内の安全な場所での待機 げから離れた2階の部屋などで待機してください。

土砂災害に対する避難行動

注意

- 気象予報、避難情報発令の流れ、市民のみなさまの行動を例として示しています。ご自身に置き換えて想像し、どのような避難行動を取るべきかを考える参考にしてください。
- 情報を収集して早めの避難を心がけてください。

警報

避難準備・高齢者等避難開始 避難準備をしてくださいます。自主避難の目安です。避難に時間がかかる方は避難を開始してください。

避難勧告 避難を開始してください。

避難指示(緊急) 直ちに避難してください。

特別警報 立ち退き避難をしない場合は、直ちに立ち退き避難する。指定緊急避難場所等への立ち退き避難が危険であると自ら判断する場合は、緊急の待避場所への避難や屋内で安全を確保する。

まずは情報や状況を確認

自宅が安全が確保できない場合は...

確認すること

- 自宅や自宅周辺は災害危険箇所の中?外?
- 被災時に孤立しない?
- 避難場所まで時間がかかる?
- 屋外の状況は?
- 今後の雨の降り方は?

やっではないけないこと

- 山やガケに近づく
- 川や水路の状況を見に行く
- 田んぼの水や畑の様子を見に行く
- 屋根の修理
- 雨どいのチェック

自宅の安全な部屋で待機 就寝中に土砂災害が発生する場合もあります。げから離れた2階の部屋に寝るなど日頃から注意しておきましょう。

チェック! 土砂災害危険度情報 広島県内を5km四方のメッシュに分割し、地域の詳細な土砂災害発生危険度を表した情報です。避難行動の目安として活用できます。

「廿日市市」で株式会社FMはつかいち「はつかいち」は災害時等における緊急放送協定を結んでおり、緊急情報は深夜や早期の放送時間外でも放送されます。

FMはつかいち 緊急放送 76.1MHz

避難場所や安全を確保できる場所への移動

避難時の注意事項 point

- 天候や周辺状況の急変に注意! 避難中に雨の降り方や周辺状況が急変した場合は、近くの安全な場所まで待機してください。
- 避難経路の路面状況に注意! 側溝やマンホールから水が溢れるなど、路面が泥水で浸水している場合もあります。やむを得ず浸水箇所を通る場合は、長い棒を使い足元を確認しながら歩きましょう。
- もしも土砂災害に遭遇したら!? げ崩れの場合は斜面からできるだけ速く逃げましょう。土石流の場合は土砂の流れる方向に対して、直角に逃げましょう。

避難時の服装は?

ヘルメットや防災頭巾で頭を保護! 動きやすくて肌を保護できる服を着用! 重宝を携帯! 履きかえれば靴も着用! 紐で締められる運動靴が脱げにくいので理想的!

避難情報や避難情報の発令基準について詳しく知りたい方は、廿日市市ホームページに掲載している「避難勧告等の判断・伝達マニュアル(概要版)」をご確認ください。

廿日市市 避難判断マニュアル 検索

避難に備える

日頃から携帯しておく便利なもの

- ①懐中電灯
- ②携帯電話 スマートフォン
- ③携帯ラジオ
- ④予備電池
- ⑤身分証

突然の停電時に便利で、様々な大きさ、形態があります。

緊急連絡時に最も有効なツールです。また情報収集にも便利です。

停電時の情報収集に便利です。スマートフォンでも利用できます。

携帯電話や携帯ラジオを長時間使うために必要です。

治療や避難支援を受けるときに有効です。連絡先も記載しましょう。

非常時持ち出し品を準備する

- 非常時持ち出し品は、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。
- 持ち出し品を入れる袋は体に合った大きさを留意し、自分で背負うことのできる重さにしてきましょう。
- 離ればなれになったときのために、荷物は各自のリュックに分割させておきましょう。

分類	項目
食料品	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> アメ・チョコレート <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> ()
生活用品	<input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> ピニール袋 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく・ライター <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> 筆記用具・メモ帳 <input type="checkbox"/> 缶きり <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> 高齢者用品(入れ歯など) <input type="checkbox"/> メガネ・老眼鏡 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> トイレトレーニングペーパー <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
医療用品	<input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> ガーゼ <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 薬手帳 <input type="checkbox"/> 処方箋(名称:) <input type="checkbox"/> ()
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も忘れずに) <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 保険証 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 身分証 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
衣料品	<input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 靴下 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 長袖上着 <input type="checkbox"/> 長ズボン <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> 雨カッパ・雨具 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()
避難・救助用具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 防災頭巾 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()

※()内には各家庭に必要なものを記入してください。

宮内地区 土砂災害ハザードマップ

廿日市市 平成31年3月作成

※このハザードマップは大雨による土砂災害を想定しています。日頃の防災活動にお役立てください。
 ※避難行動は「避難準備・高齢者等避難開始」発令時を基本としてください。

廿日市市役所 0829-20-0001 (代表)
宮内市民センター 0829-39-6011

ハザードマップに関するお問い合わせ

廿日市市 総務部 危機管理課
 住所：廿日市市下平長一丁目11-1
 電話：0829-30-9102

緊急時の連絡先

災害用伝言ダイヤル 171

録音する 再生する

市外局番からの電話番号

録音 30秒 再生 30秒

まずは地図上で「自宅」を見つけて、どのような危険があるかを確認してください!

指定緊急避難場所の開設と注意事項

※「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合は、自宅周辺の災害危険箇所を確認した上で、指定緊急避難場所への移動や自宅での安全確保など、避難行動を開始してください。
 ※避難情報発令の基準はハザードマップ凡例の「土砂災害危険度情報と避難情報の発令」を参考にしてください。

避難準備・高齢者等避難開始の発令時は 市民センターから開設されます

※指定緊急避難場所などの開設は市民センターから行い、災害の規模に応じ小中学校などを開設していきます。
 ※指定緊急避難場所・指定避難所は災害の種類ごとに指定しています。各避難所の詳しい情報は、廿日市市ホームページをご確認ください。

注意!

緊急の場合はマップ上の指定緊急避難場所などにとらわれず近くの安全な場所に避難してください。

※自主防災組織や町内会などで市民センター以外の施設を避難所として自主的に開設することもできます。

地域意見による 自主開設の対象施設

- 廿日市野村病院
- 峰高集会所
- 佐原田集会所
- 六本松二丁目集会所

土砂災害危険度情報と避難情報の発令

廿日市市では「土砂災害危険度情報(土砂災害警戒メッシュ情報)」を避難情報発令基準の一つとしています。土砂災害危険度情報とは、広島県内を5kmメッシュ(格子)に区切り、メッシュ内の地域ごとに土砂災害発生危険度を示したものです。

土砂災害危険度情報の画面例

●土砂災害危険度の凡例

- 実況で基準値超過
- 1時間後に基準値超過
- 2時間後に基準値超過
- 3時間後に基準値超過
- 大雨警戒(土砂災害)基準超過
- 大雨注意(土砂災害)基準超過

※宮内地区はこのメッシュの適色により危険度を判断してください。
 ※土砂災害発生危険度が無い場合は青色です。

大雨警戒(土砂災害)が発令され、土砂災害危険度情報の基準を2時間後に超過(●)すると予測される場合、雨量状況を加味して「避難準備・高齢者等避難開始」が町丁目単位で発令されます。

土砂災害危険度情報は、パソコンまたはスマートフォンで検索していただくか、テレビ(NHK広島放送局)のデータ放送(dボタン)でご確認ください。

地域からの意見による注意箇所

日頃気になる箇所

- 通行時注意する道
- 水路・河川の注意箇所
- 水があふれやすいたまりやすい箇所
- 通行注意箇所
- がけ・斜面の注意箇所

過去に災害が発生した箇所

- がけ崩れ
- 水害

マーク等の凡例

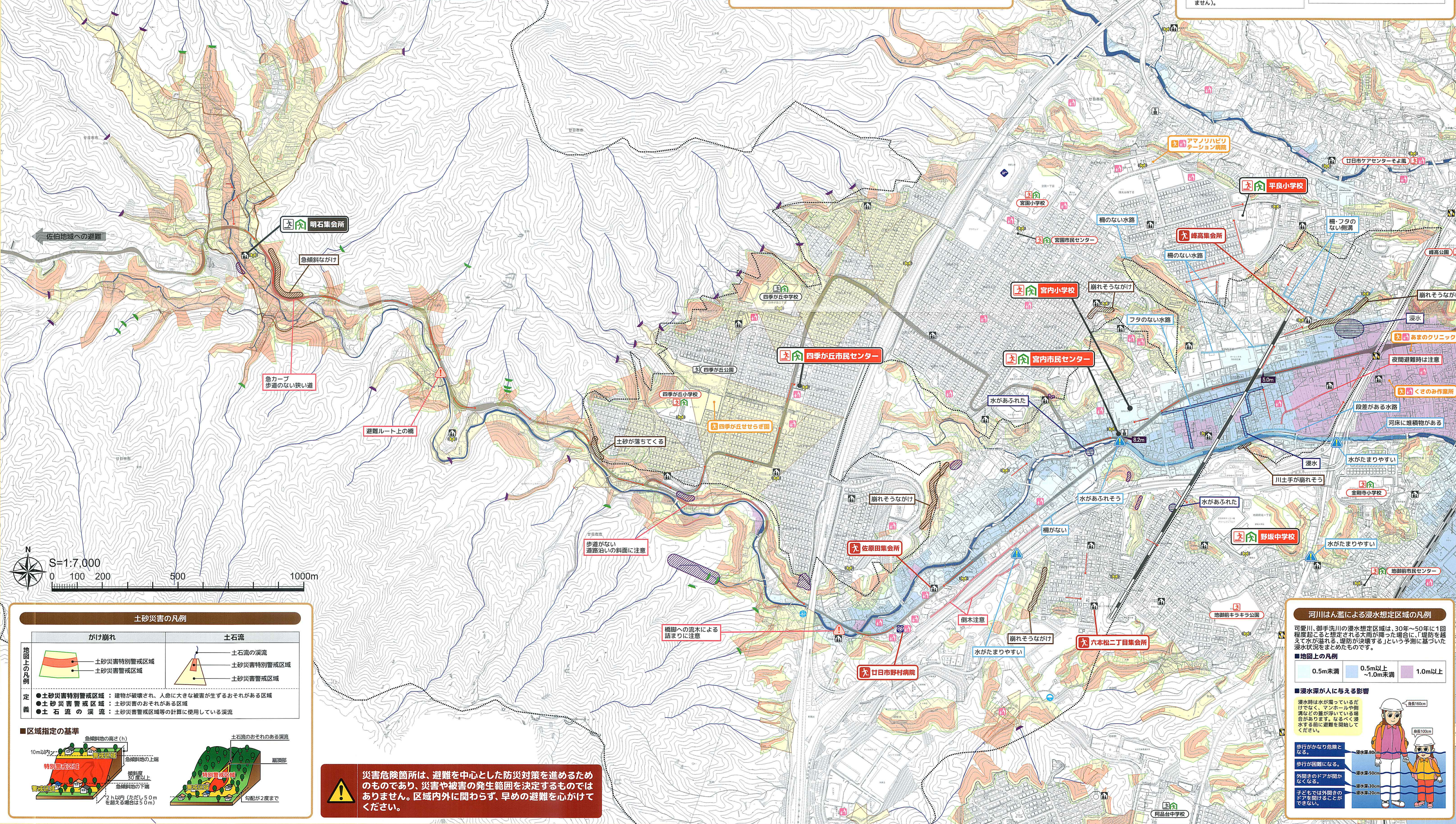
避難情報

- 指定緊急避難場所(土砂災害時に関与する)
- 指定緊急避難場所(土砂災害時に関与しない)
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 地域で自主的に開設する避難所
- 避難ルート

その他

- 災害時相互救援活動協定施設
- 防災行政無線
- 要配慮者利用施設
- 標高※
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 砂防堰堤
- ヘルポート
- 地区境界
- 鉄道
- 集会所
- アンダーパス
- 警察署・交番
- 主要道路

●指定緊急避難場所とは、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。
 ●指定避難所とは、災害により自宅に戻ることで、被害の軽減を図ることを目的とした施設です。
 ●福祉避難所とは、高齢者や障がいのある人などのうち、特別の配慮を必要とする人が避難する施設です(健常者だけの避難は原則できません)。
 ※標高は国土院の電子地形図を参照しています。



土砂災害の凡例

地上の凡例

- がけ崩れ
- 土石流

定義

- 土砂災害特別警戒区域：建物や人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域
- 土砂災害警戒区域：土砂災害のおそれがある区域
- 土石流の渓流：土砂災害警戒区域等の計算に使用している渓流

区域指定の基準

急傾斜地の高さ(h)

- 10m以内
- 急傾斜地の下端
- 急傾斜地の上部
- 傾斜度30度以上
- 2h以内(ただし5.0mを超える場合は5.0m)
- 土石流のおそれのある渓流
- 風扇部
- 勾配が2度まで

河川は人による浸水想定区域の凡例

可斐川、御手洗川の浸水想定区域は、30年~50年に1回程度起こると想定される大雨が降った場合に、「堤防を越えて水が溢れる、堤防が決壊する」という予測に基づいた浸水想定区域です。

地上の凡例

- 0.5m未満
- 0.5m以上~1.0m未満
- 1.0m以上

浸水深が人に与える影響

浸水時は水が湧き出ているだけでなく、マンホールや雨溝などの蓋が浮いている場合があり、なまめ浸水する前に避難を開始してください。

歩行がかなり危険となる

歩行が困難になる

外開きのドアが開かなくなる

子どもで外開きのドアを開けることができない。

身長160cm

身長100cm

浸水深90cm

浸水深50cm

浸水深30cm

浸水深20cm

災害危険箇所は、避難を中心とした防災対策を進めるためのものであり、災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。区域内外に関わらず、早めの避難を心がけてください。